

コロナ医療チームを全面サポート！

ICO Manpower (ベトナム、バクザン市) が新型コロナ感染症の医療活動に全面協力している。

ベトナムは新型コロナ感染症の抑え込みにいったんは成功したものの、残念ながら5月以降感染が拡大している。

中でもICOの本拠地であるバクザン省が最も深刻な状況にあるため、ハノイ医科大学とタイビン医科大学の医療チーム、約150人がバクザン省に入った。

ICO Manpowerは医療活動をサポートするべく、教育センターを医療チームの宿泊施設に提供した。



ベトナムの感染状況

	4月8日	7月8日
感染者数	2,659人	23,385人
死者数	35人	102人



また、消毒スプレー、業務用ブーツといった物品や飲料水、食料を無償提供し、物資面でも協力している。

加えてICO Manpowerの職員がボランティアとして、日中40度を越える炎天下で医療チームを手伝っている。

こうしたICOの活動に対し、6月8日には保健省のゲン・チュオン・ソン副大臣が教育センターを訪問し、医療チームとボランティアのICO職員に会って激励を行なった。

さらに6月12日にはバクザン省のザップ・スアン・カイン副書記が訪れ、ICOは支援活動の表彰を受けた。

一時は工業団地でクラスターが発生するなど、危機に直面したバクザン省であるが、工業団地を一時的にすべて稼働停止するなどの徹底的な対策を講じた結果、発生地域を隔離エリアに限定し、感染の抑え込みまであと一歩に迫っている。



月刊

発行所
株式会社ICO Japan
東京都板橋区大和町29-11
帝北ビル3階
電話：03-6903-5646

ベトナムの祝祭日③ 中元節とブーラン (盂蘭)

ベトナムで旧暦7月15日は「中元節」という祭日であると同時に「ブーラン (盂蘭) 」(お盆) でもある。

今年に8月22日にあたり、両親や祖父母に敬愛を表したり、祖霊を供養したりする。

元々は様々な罪が許される行事を行なう道教起源の中元節と、仏教のお盆とが混交した結果、現在の姿になったと考えられる。

日本では二つが合わさった後、祖霊を供養する行事がお盆として残る一方、江戸時代に取引先や世話になった人に贈り物をするようになり、特にこの習慣を(お)中元と呼んでいる。

ブーランの供物

